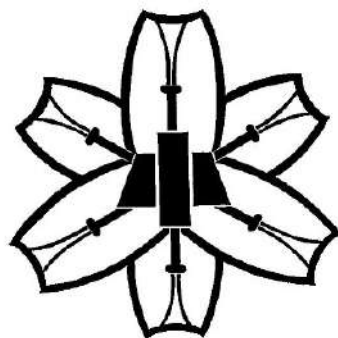


令和4年度

# 学校評価アンケートより



令和5年3月

川崎市立百合丘小学校

本年度の百合丘小学校は、児童数879名、学級数31クラスでスタートしました。学校教育目標を「笑顔あふれる学校」と掲げ、「明るい子（自他を大切にし、認め合い協力する、健康な子）、よく考える子（課題に対して自ら考え解決、行動する子）、がんばる子（目標に向かって努力する子）」の育成を目指して教職員一丸となり、学校運営に携わってきました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年度に引き続き、様々な規制や制限が設けられた中での生活となりました。しかし、感染状況や社会情勢の変化等から政府の方針の変更が示され、マスクの扱いをはじめ、解除されたり緩和されたりするようになりました。学校でも徐々に以前のように、あるいは以前に近い形で教育活動を行うようになってきました。

本校では3年前に全面実施された学習指導要領の趣旨に則り、子供が主体的で対話的に学びを深めるような学習展開を目指してきました。示された問題を教えられたやり方に則って解くだけではなく、子供が自ら課題を見つけ、解決の方法を探って考えをもち、交流等を通して学びを深めていく学習が定着してきました。また、GIGAスクール構想のもと、同じく3年前より始まった一人一台のGIGA端末を生かしての学習も浸透してきました。1年生から積極的に活用して扱うことに慣れ、学年が進むに連れて、調べたり、交流したり、発表したりするためのツールとして使用頻度を高めています。それらの成果を、授業参観や学習発表会にて前向きに生き生きと活動する子供たちの姿から、感じて頂けたでしょうか。

また、新型コロナウイルス感染症対策への方針が変更されていく中で、生活様式の在り方や価値観について多様性が見られるようになるかと思えます。これからは一層、人を理解しようとする心や、思いやりの気持ちを身に着ける必要があると感じます。本校でも「豊かな心」の育成に一層努めていきたいと思えます。

予測困難なこれからの時代、自ら考え、判断して行動し、人生を切り拓いていく力が求められています。「生きる力」を育み、笑顔で過ごすことができる子供たちの姿を共有しながら、本校の教育活動を推進していきたいと思えます。

保護者のみなさまからご協力いただきました学校評価アンケートの結果について、以下にご報告させていただきます。貴重なご意見を多数いただきました。今後の学校運営の改善に皆様の声を生かしていきたいと思えます。

お忙しい中でのご協力、誠にありがとうございました。

川崎市立百合丘小学校  
校長 堀井 英之

# 1. 令和4年度の学校運営について

## (1) 学校教育目標と育成を目指す資質・能力

### 学校教育目標

#### 笑顔あふれる学校（自己肯定感・有用感）

- ・ 明るい子（自他を大切にし、認め合い協力する、健康な子）
  - ・ よく考える子（課題に対して自ら考え解決、行動する子）
  - ・ がんばる子（目標に向かって努力する子）
- ※生きる力の育成（確かな学力 豊かな心 健やかな体）

### 育成を目指す資質・能力

- 他者との協働を通して、主体的に学び、お互いに高め合う姿勢や態度（学びに向かう力・人間性等）
- 自ら課題を見出し、既習の知識や技能を活用して考え判断し、話し合ったり自分の思いを表現したりする力（思考力・判断力・表現力等）
- 様々な場面での課題を解決することのできる基礎的・基本的な知識や技能（知識・技能）

### めざす教職員像

- ・ 子どもを理解し、温かく厳しく支える教職員
- ・ 学び合い磨き合う教職員
- ・ 目標や課題に向かって協働する教職員

子どもを大切にする学校  
チーム百合丘！

## (2) 学校経営方針

### (1) 学校経営方針

- ① 教育力を高め、（子供が生きていくうえで必要な）資質・能力の、育成を図る（授業改善 確かな学力）
- ② 主体性や自他を大切にし認め合う心の、育成を図る（豊かな心）
- ③ 安心・安全を守り、健やかな心身の育成を図る（子供の安心・安全）
- ④ 地域・保護者・教職員の連携を強め、（子供の）地域愛の、育成を図る（地域、保護者との連携）

### (2) 学校経営の重点と取り組み

- ① 教育力を高め、資質・能力の育成を図る（授業改善 確かな学力）
  - ・ 子供が未来社会を生き、切り開くための資質・能力を育む教育内容の効果的な編成をめざす。（カリキュラムマネジメントの充実）
  - ・ 主体的に学習に取り組む態度を養い、発達段階に応じた基礎的な知識・技能を習得させ、これらを活用して課題を解決する思考力・判断力・表現力を育む。（資質・能力の育成）
  - ・ 教師の授業力の向上を図り、主体的・対話的で深い学びの視点に立った分かる授業づくりを推進して

いく。(指導法の工夫、授業研究、研修の充実)

・学びの質の向上を目指し、GIGA スクール構想の推進を図る。

② 主体性や自他を大切にし認め合う心の、育成を図る(豊かな心)

・「私も大切・あなたも大切」を基本とした人権教育の推進を図る。

(共生・共育の授業の充実、道徳教育の推進、教職員の意識の向上、研修など)

・協働することを通して互いの良いところを学び合える工夫を行う。子ども同士のかかわりやふれあいを意識して設定し、自己肯定感や自己有用感、他者意識を養っていく。

・「キャリア在り方生き方教育」を、教育課程への位置づけを明確にして推進する。

・百合丘小学校の伝統や今まで育んできた愛校心を大切にしながら、新たな百合丘小学校の伝統づくりをめざしていく。(創造性の育成)

③ 安心・安全を守り、心身の健やかな育成を図る(子供の安心・安全)

・学校スタンダードを基本とし、教職員の共通理解と実践に役立てる。

・児童支援コーディネーターを中心として、教育活動サポーター等も活用しながら組織的な対応を心がけ、教職員全員で支援教育を推進する(チームで対応していく学校)。

・社会性の発達をめざし、一人一人の違いや個性を認め、受け入れ、実態に応じた支援や指導のできる温かい学校・学級としての集団作りをめざす。

・様々な場面で話し合うことを大切に扱い、よりよい集団や人間関係づくりと、自分自身の振り返りができるように指導する。

・いじめ防止基本方針を策定し防止に努めるとともに、いじめ等の早期発見と早期対応を図る。

・本校の実態に応じた防災・防犯訓練の実施と安全教育・情報モラル教育の推進を図る。

・安心・安全に向けた保護者・地域・近隣校との連携を図る。

・体力向上に向け、体育の単元構成を工夫し、授業への取り組みの共通理解を図る。また、きらきらタイムを計画的に運営し、子どもたちが自ら健康な体を育もうとする態度を育てる。

④ 地域・保護者・教職員の連携を強め、地域愛の育成を図る(地域、保護者との連携)

・教職員が情報を共有し、どの教職員も同じ意識で、保護者の気持ちに寄り添った関わりを心がける。

・(学校及び教職員は、)保護者との信頼関係を構築するために、学校で起こった事柄について丁寧かつ迅速な説明を心がける。

・各種ボランティアや地域協力者等の積極的な活用により地域の理解と交流を図る。

・学校説明会や学校便り、ホームページ、授業参観などを通して保護者、地域に学校の教育活動について理解と支援を得られるよう努める。

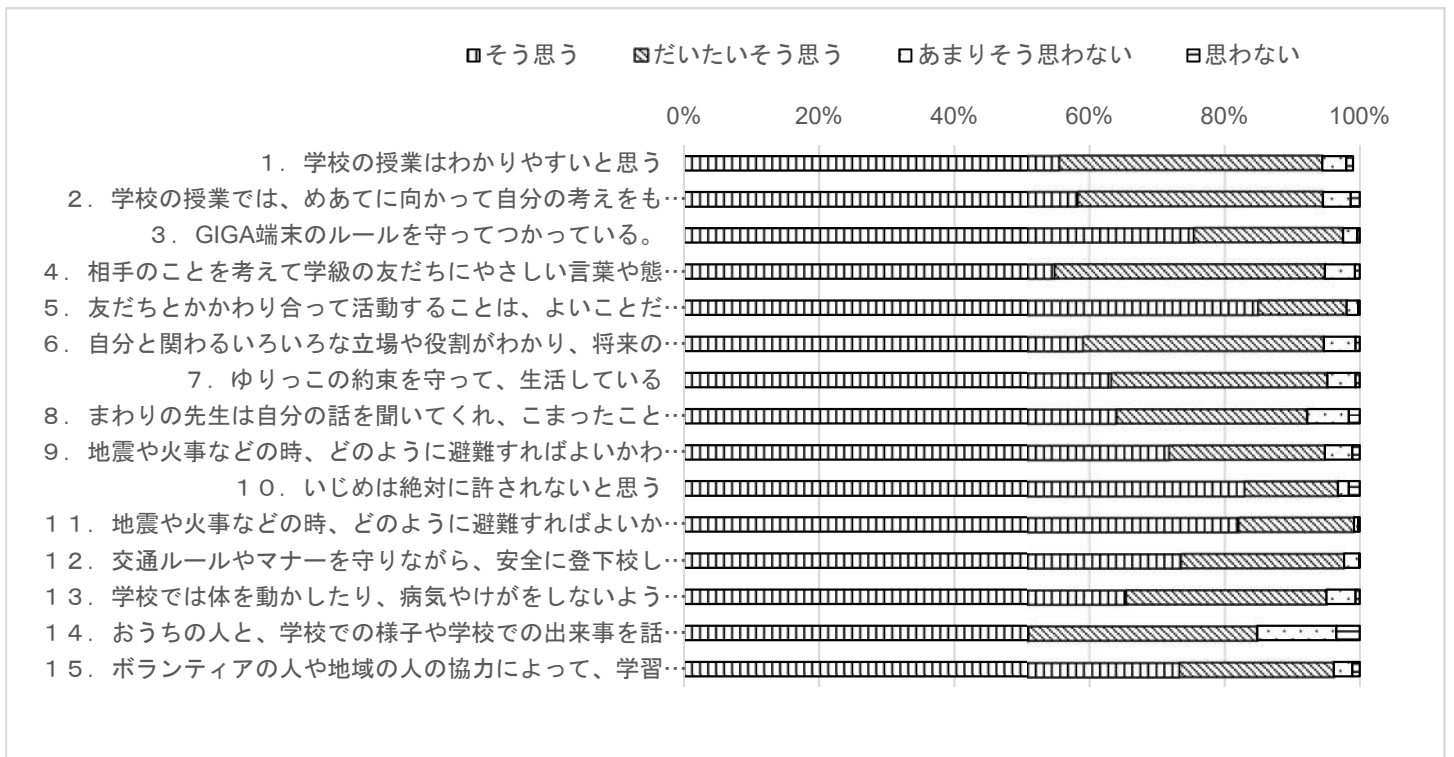
・ICTを活用し、保護者との連携や情報提供を効率的かつ効果的に行う。(ホームページについては速報性のある記事の提供・アンケート集計の簡略化等)

・地域の方の支援を頂き、山百合の栽培を行う。栽培活動を通して地域に貢献していこうとする意識と地域を愛する心情を育てる。

## 2. 令和4年度 学校評価アンケート結果

### (1) 児童アンケート集計結果

	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	思わない
1. 学校の授業はわかりやすいと思う	458	314	29	8
2. 学校の授業では、めあてに向かって自分の考えをもち、友だちとの伝え合いを大切にしている活動が多いと思う	472	293	33	11
3. GIGA 端末のルールを守ってつかっている。	611	179	17	3
4. 相手のことを考えて学級の友だちにやさしい言葉や態度で接していると思う	444	322	36	6
5. 友だちとかかわり合って活動することは、よいことだと思う	688	106	14	2
6. 自分と関わるいろいろな立場や役割がわかり、将来の夢や目標をもって、よりよい生活になるよう考えていると思う	478	288	38	5
7. ゆりっこの約束を守って、生活している	512	258	34	5
8. まわりの先生は自分の話を聞いてくれ、こまったことがあったときは、そうだんにのって考えていると思う	519	228	50	13
9. 地震や火事などの時、どのように避難すればよいかわかっていると思う	581	186	33	9
10. いじめは絶対に許されないとと思う	671	112	13	13
11. 地震や火事などの時、どのように避難すればよいかわかっていると思う	664	138	5	2
12. 交通ルールやマナーを守りながら、安全に登下校していると思う。	595	195	18	1
13. 学校では体を動かしたり、病気やけがをしないように気をつけたりして生活をしていると思う。	530	240	35	5
14. おうちの人と、学校での様子や学校での出来事を話していると思う	414	273	95	28
15. ボランティアの人や地域の人協力によって、学習や行事が行われていると思う	594	185	22	9

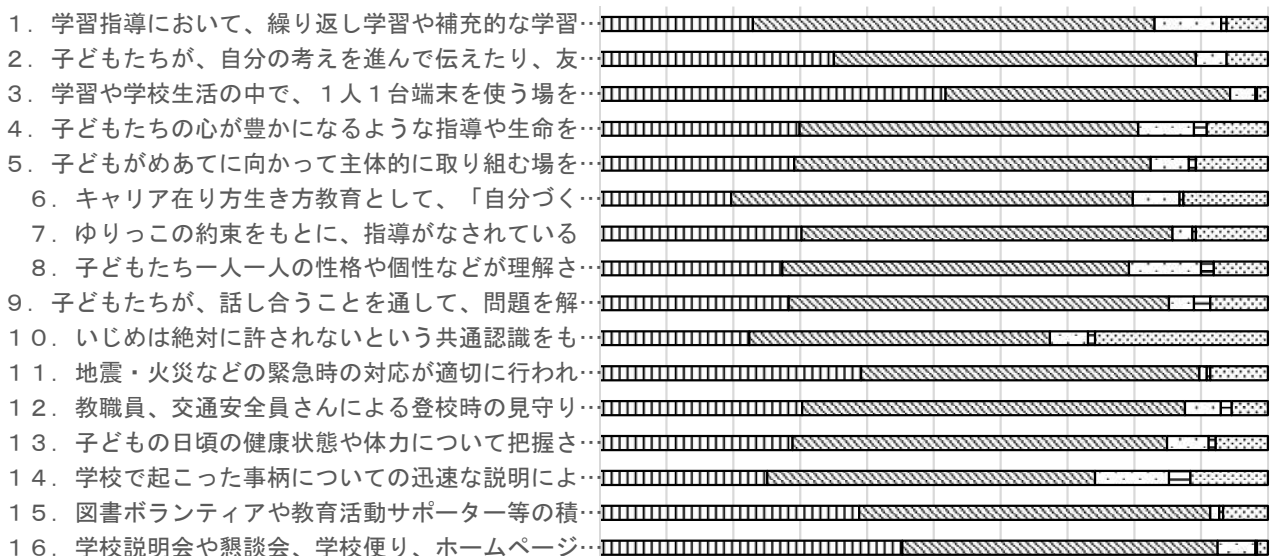


## (2) 保護者アンケート集計結果

	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
1. 学習指導において、繰り返し学習や補充的な学習など基礎・基本の定着や個に応じた指導がなされている。	85	223	37	3	23
2. 子どもたちが、自分の考えを進んで伝えたり、友だちの考えを聞いて自分の学びにつなげたりすることができるような指導がされている。	130	201	17	0	23
3. 学習や学校生活の中で、1人1台端末を使う場を設定し、GIGAスクール構想の推進を図っている。	192	158	14	1	6
4. 子どもたちの心が豊かになるような指導や生命を大切にするような指導がなされている	111	188	31	7	34
5. 子どもがめあてに向かって主体的に取り組む場を多く設定している	108	198	21	4	40
6. キャリア在り方生き方教育として、「自分づくり」「集団への一員としての自覚」「地域への関心」を教科課程へ位置づけ、推進している	73	223	26	2	47
7. ゆりっこの約束をもとに、指導がなされている	112	206	11	2	40
8. 子どもたち一人一人の性格や個性などが理解され、適切な指導・対応がなされている	101	192	40	7	30
9. 子どもたちが、話し合うことを通して、問題を解決したり、よりよい人間関係を築けるような指導がなされている	105	211	14	9	32
10. いじめは絶対に許されないという共通認識をもち、学校体制を確立している。また、発見した際には適格迅速に対応している	83	167	21	4	96
11. 地震・火災などの緊急時の対応が適切に行われている	145	188	4	2	32
12. 教職員、交通安全員さんによる登校時の見守りや校外委員さんによる学区内の危険箇所の点検など、児童の安心・安全に向けて、保護者や地域との連携が図られている	112	212	20	6	20
13. 子どもの日頃の健康状態や体力について把握され、適切な指導・支援が行われている	107	208	23	4	29
14. 学校で起こった事柄についての迅速な説明による信頼関係の構築を図っている	93	182	41	12	43
15. 図書ボランティアや教育活動サポーター等の積極的な活用により、学習支援が図られている	144	195	5	2	25
16. 学校説明会や懇談会、学校便り、ホームページなど、学校からの情報の発信がされている	168	175	21	1	6

□ そう思う   □ だいたいそう思う   □ あまりそう思わない   □ 思わない   □ わからない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



### 3. 学校評価アンケート結果より

全体的にはよい評価を頂けたと考えています。しかしながら、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を余儀なくされました。行事等の縮小、日常の学習や生活場面での制約などが多く、そういったことが今回の学校評価アンケートに反映される結果となりました。

#### <児童アンケートの結果から>

項目1の結果から、授業はわかりやすい、だいたいわかりやすいと考えている児童が多くいることがわかります。授業力の向上を図り、主体的・対話的で深い学びの視点に立った分かる授業づくりに取り組んできました。今後も、授業研究や学年会、教科部会などで、広く意見を交わし合いながら、指導方法や指導体制の工夫改善により、個に応じた指導の充実を図っていきます。

項目5の結果から、友だちとかかわり合って活動することはよいと思うと考えている児童が多くいることがわかります。協働することを通して互いの良いところを学び合える工夫をおこなったり、子ども同士のかかわりやふれあいを意識して設定したりした結果と考えます。今後も、自主性や自他を大切に認め合う心の育成の充実を図っていきます。

項目10の結果から、いじめは絶対に許されないと思う児童が多数いることがわかります。いじめへの対応においては未然防止に取り組むことが重要です。いじめに向かわない態度や能力の育成等の、いじめが起きにくい、いじめを許さない環境づくりに向け、今後も、人権教育や道徳教育の充実と共に、何よりも温かい人間関係づくりに取り組んでいきます。

項目14の結果から、児童はあまり学校のことをご家庭でお話ししていないようです。児童がご家庭で思わず話したくなるような、授業の工夫や休み時間の過ごし方、友達との関りなど、児童の学校生活の充実に努めてまいります。

また、学校ホームページの運営を工夫したり、お便りを活用したりして情報提供を行いますので、その中からでも、ご家庭で話題にさせていただき、お子さんの学校生活を知っていただけたら幸いです。

項目15の結果から、児童はボランティアの人や地域の方の協力によって、学習や行事が行われていると考えている児童が多くいることが分かります。コロナの感染状況を鑑みながら、地域の方や保護者の皆様、そして外部からの講師によって学習や行事を広げていけた結果と考えます。子ども達が、地域のよさを実感したり、地域の方に感謝の気持ちを伝えられたりできるように努めていきたいと考えています。

## <保護者アンケートの結果から>

項目2の結果から、子どもたちが、自分の考えを進んで伝えたり、友だちの考えを聞いて自分の学びにつなげたりすることができるような指導について、肯定的に捉えていただいていることがわかります。児童アンケートでも、児童がめあてをもち、友だちとの伝え合いを大切にしている活動が多いことに成果を実感していることがわかります。今後も、個々の児童の個性を尊重しつつ、学び合う授業づくりに努めていきます。

項目3の結果から、学習や学校生活の中で、一人一台端末を使う場を設定し、GIGAスクール構想の推進を図る取り組みについて、肯定的に捉えていただいていることがわかります。今年度は、GIGA 端末活用2年目となり、児童も扱い方を覚え、学習や学級活動等でも進んで活用する姿が見られます。今後は、ルールの見直し及び徹底、活用の効果等をさらに検討し、さらに活用の充実を目指します。

項目6の結果では、キャリア在り方・生き方教育について、肯定的に捉えている方が多い一方で、わからないと回答された方が多い状況です。生活科・総合的な学習、特別活動等を中心に「自分づくり」「集団への一員としての自覚」「地域への関心」を位置づけて推進しています。今後もその学習内容や活動をお伝えし、ご理解いただけるよう努めていきます。

項目10の結果から、わからないと回答された方が多かったです。いじめは絶対に許されないという教職員の共通認識については、人権教育や道徳教育を中核として、授業や学校行事、特別活動等の中で、日常的かつ継続的に指導しています。日常の指導の中で子どもたちの認識を高め、学校生活におけるアンケートや聞き取りを行っていますが、学校での取り組みについて見えやすい形でお知らせできるようにしていくことが課題だと考えています。

項目14の結果では、学校で起こった事柄についての迅速な説明による信頼関係の構築を図っているについては、学校での様子が見えにくいと感じられる保護者の方が多いようです。今後さらに子どもたちが直面する課題に対して、ご家庭との協力が不可欠であると考えています。より迅速に情報を共有できるようにしていきたいと思います。

項目15の結果では、図書ボランティアや教育活動サポーター等の積極的な活用により、学習支援が図られているについて、多くの方に肯定的に捉えていただいていることがわかります。前述の児童アンケートでも、児童はボランティアの人や地域の方の協力によって、学習や行事が行われていると考えている児童が多い結果となりました。今後も、保護者や地域の方々と連携した学校づくり、特色ある学校づくりに取り組んでいきたいと考えています。



#### 4. 学校をよりよくしていくための自由記述アンケートより抜粋

- ・学校からの配付物をオンラインで見られるようにしていただきたい。
- ・学年だよりは、配布と同時にホームページに掲載していただけると助かります。
- ・プリント類を電子化してほしいです。

個人面談の申し込み等、オンライン化に取り組んでいます。次年度は、新1年生の承諾書、学校だよりや個人面談の案内などを電子化していく予定です。ペーパーレス化が進む中、紙ベースがよいもの、データがよいものなど精査して進めていきたいと考えています。また、ホームページの更新が遅れていたこともありました。申し訳ございません。定期的に更新するよう努めていきます。

- ・教科書とパソコンの持ち帰りで荷物が多いなおもうことがあります。
- ・GIGA 端末の活用については賛成ですが、毎日登下校で持ち歩くのが、体の小さい子どもには可哀想だと思います。

GIGA 端末を家庭に持ち帰り、活用を進めることで、校内という場所の制限や、授業内という時間的な制約を超えて、子どもたちが自主的に学ぶ環境を提供することが可能となると、教育委員会より示されています。本校では、日常的に使うことで扱いに慣れることや、学校での続きを家でもう一度やってみるなど、取り組みやすいところから始めています。持ち帰りについては、低学年などは毎日ではなく、必要に応じて取り組んでいます。課題等の配信時間が遅いことや持ち帰る荷物の重さなどもご指摘いただいています。課題等を配信する時間を早めたり、学校置きにできる教科書や教材等をさらに検討し、ご家庭や児童の負担にならないよう改善を進めてまいります。

- ・今年入学しましたが、学校生活に慣れる前に5時間授業が始まったため結構大変でした。近隣の小学校はもう少し遅く5時間授業開始になっていたのも、特に一年生は学校生活に慣れるために徐々に5時間授業にしても良いのではないかと感じました。また、夏休みも短かったため、もう少しゆったりしていてもいいのではないかと思います。

教育委員会からも、児童に負担のない教育課程を設定するよう言われております。次年度については、低学年を中心に週時程の見直しを行いました。また、一夏季休業等についても、学習指導要領で示されている各教科の標準授業時間数と各行事等の時間数を確保した上で、児童にゆとりのある教育課程を編成します

- ・懇談会はZ o o mも活用いただきたいと思いますが、先生方のご負担が増えるようなら対面のみでよいと思います。
- ・懇談会などはオンラインで開催してほしいと思いました。
- ・説明会・懇談会等はオンラインでの参加も選べるようになると、仕事や乳児のいる親も参加しやすくなるのではないのでしょうか。

コロナ禍により、社会ではさまざまなことにオンライン化が進みました。学校としましては、コロナの感染症対策も緩和されるということから、対面での懇談会や個人面談を考えております。担任が児童の様子を直接伝えたり、子ども達のことについて一緒に話し合ったりする場として考えております。また、特に懇談会は、保護者同士のつながりをもつ機会、子ども達の学習の成果物等を見ていただく場としても考えております。

子どもの安全のため、警備員を常駐させてほしいです。

他校では、PTAの予算で警備員を雇っています。PTAの予算委員会や総会で議論され、決定すれば、警備員の配置も可能になるかと思います。

児童の安全を守ることはとても大切なことです。現在の取り組みである、登下校時刻以外の閉門、遅刻早退の場合は正門を使い、保護者が教室まで送迎するという約束を、今後も徹底していくというご協力をお願いします。

- ・大縄跳びや20人21脚、ドッチボールやキックベース大会など、クラス対抗の取り組みなどがあると、この時期の心身の発達にもっとプラスがあるのではないかなと思います。
- ・体育の授業以外にも、例えば、縄跳びやマラソンといった体力をつける場を設けて欲しいです。

本校では、各学年工夫した集会など計画し取り組んでいます。また、体力向上に向けて、体育委員会を中心に、休み時間に大縄（8の字跳び）をクラスごとに取り組んだり、50M走タイムトライアルなど行ったりしています。体力向上に向けて、さらに充実した活動ができるように考えていきます。

- ・コロナ禍ではありますが、一年間に少しずつ色々なイベントが増えてきて嬉しく思っています。
- ・昨年度にくらべ参観等の機会も増えて、学校の様子もより知ることができました。ありがとうございます。先生方のご尽力に感謝いたします。本来のスタイルに戻るのはいま少し先になってしまうのでしょうか・・・いつか給食も本来の楽しい時間が戻って来るといいですね。今年度もあと少しですが、どうぞ宜しくお願いします。
- ・大変充実した学校生活を送らせていただいています。人手不足の中いつもありがとうございます。先生方の心身の健康を最優先にお願いいたします。
- ・参観で観た防災の発表や、子供から聞いた地域の農家の見学など良い取り組みだと思ふ。また連合音楽会の歌がすごく良かった、ハーモニー美しく動きもあり楽しそうだった。
- ・綺麗な学校で勉強できて、美味しい給食も食べられて、子供達は幸せだと思います。
- ・保護者として、支えてくださる皆様に感謝しています。子供達にも、この環境は当たり前ではなくて、ありがたいことなのだと伝えていきたいです。
- ・いつも子どもたちを暖かくご指導いただきまして、ありがとうございます。これからも、どうぞよろしく願いいたします。
- ・子ども達の生活面や様子をいつもよく見てくださってありがとうございます。
- ・落ち葉はきボランティアはやりがいがありました。また参加したいです。

学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

これらのことを振り返りながら、残り少なくはなりましたが、令和4年度最後まで取り組み、さらに、令和5年度の学校経営を考えていきたいと思ふ。